

肉量、肉質に優れた全国トップクラスの種雄牛
「桜花国（さくらはなくに）」誕生！



「桜花国」のプロフィール
平成22年11月18日生
産地：玖珠町
登録番号：黒原5579
登録点数：83.3
血統：第1花国ー紋次郎ー糸福

【研究のポイント】

畜産研究部では、肉用牛生産者（繁殖及び肥育）子牛、枝肉性並びに市場性向上による経営の安定を図るため、系統（糸桜系・気高系・但馬系）の異なる種雄牛を造成し、それら種雄牛から生産される凍結精液を県内の繁殖農家に供給し、豊後牛の生産性の向上に向け、研究を行っています。

この度、北国7の8を父とする第1花国と紋次郎を父とする母牛「うえ299」配合で誕生した種雄牛「桜花国」の現場後代検定成績及び一般肥育成績が良好であった。

その内容はH27年度大分県畜産共進会（肉牛の部）で枝肉重量613.0kg、脂肪交雑（BMS）12（A-5）で首席に輝きました。血統からは県内に多く飼養されている糸福とは違った糸桜系種雄牛です。肉量、肉質の両面に優れていることから肥育農家や卸売業者から注目されている種雄牛です。

県内に多く飼養されている気高系や但馬系の繁殖雌牛の交配を推奨しています。今後、「おおいた豊後牛」の生産拡大に寄与することが期待されます。

【研究の成果】

「桜花国」産子の現場後代検定成績

検定期間 平成26年3月20日～平成28年3月7日

検定頭数 去勢10頭・雌6頭 計16頭

調査形質	去勢	雌	平均	県平均
・枝肉重量(kg)	541.2	472.2	515.3	447.5
・ロース芯面積 (cm ²)	62.8	58.3	61.1	53.7
・バラ厚 (cm)	8.3	8.1	8.2	7.4
・皮下脂肪厚(cm)	3.3	3.5	3.3	3.1
・脂肪交雑 (BMS No)	7.2	6.0	6.8	5.2

枝肉価格による肥育生産者の販売額増加（目安）

県平均 2,398円×447.5kg=1,073,105円/頭

「桜花国」産子 2,398円×515.3kg=1,235,689円/頭

差額162,584円が1頭当たりの販売増加額

*注：(株)東京食肉市場、(株)大阪市食肉市場のA-4等級の去勢平均価格

【生産者の声】



玖珠町肉用牛育種改良組合
組合長 梶原 美行氏

但馬の血の濃い血統の繁殖雌牛に糸福（大分）、紋次郎と配合し、それに糸福とは違った糸系種雄牛第1花国を掛け合わせて出来た種雄牛です。体型的にも前駆・中軀が充実するとともに、体積にも富んでおり、さらに、外貌からも肉量・肉質が期待できる種雄牛で有ることが、今回の県共で証明されました。

県内外の肥育農家からの期待に応える種雄牛であると確信しました。

また、県内の肉用牛飼養農家が多く飼養する気高系、但馬系の繁殖雌牛にとって交配し易い系統の種雄牛であることから大いに活用していきたいと思えます。

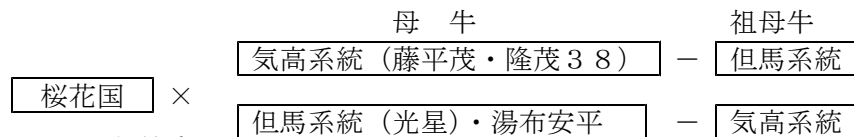
【参 考】

■枝肉切開面写真



歩留等級：A
脂肪交雑：5等級
BMSNo.：12
ローズ芯面積：70cm²
枝肉重量：613.0kg

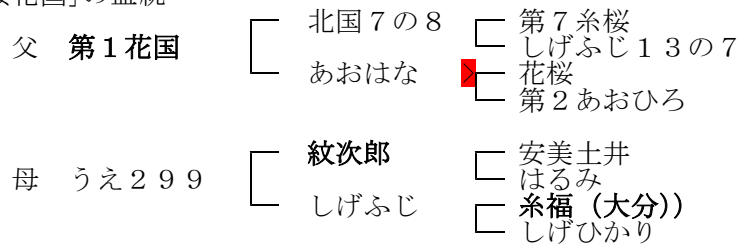
■「桜花国」を利用した交配方法



■現場後代検定とは

現場後代検定は1頭の種雄牛候補につきその産子15頭以上を肥育し、その枝肉成績（枝肉重量、ローズ芯面積、脂肪交雑など）をもとに父親である種雄牛候補の遺伝的な能力を判定する検定法です。

■「桜花国」の血統



【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター畜産研究部 種雄牛チーム
TEL：0974-76-1317
住所：竹田市久住町大字久住3989-1